

# 令和3年度 自己評価報告書

令和4年6月  
学校法人 文化学園  
川口文化服装専門学校

# I 学校の現況

## (1) 学校名

学校法人文化学園 川口文化服装専門学校

## (2) 所在地

〒332-0016 埼玉県川口市幸町3-5-33

## (3) 沿革

昭和23年5月	学校設置認可を得る。
昭和29年11月	学校法人文化学園となり、経営体系を公共的に組織に改め、施設設備を拡充。
昭和51年	専門学校として認可される。 新たに教育内容の充実向上をはかり、専門課程と高等課程を設置する。
昭和63年4月	高等課程が埼玉県立大宮中央高等学校の単位制による通信制の課程と技能連携。
昭和63年10月	高等課程が大学入学資格付与の指定を受ける。
平成元年	課程の名称を「服飾・家政高等課程服装科」、「服飾・家政専門課程服装科」に変更。 専門課程服装科に外国人留学生の受入れを始める。
平成6年3月	専門課程服装科修了者に対し、「専門士」の称号の付与を認められる。 (文科省告示第7号)
平成7年4月	服飾・家政専門課程に「服飾専攻科」(修業年限1年)を設置。 一般を対象とした「別科服装専科(社会人コース)」を設置。

## (4) 学科の構成

課程	学科	コース	修業年限	入学定員	総定員
高等課程	服装科	洋裁コース	3年	5名	75名
		高校併修コース		20名	
専門課程	服装科	洋裁コース	2年	35名	70名
	服飾専攻科	洋裁コース	1年	10名	10名

## Ⅱ 項目別の自己評価表(専門学校)

### 1.学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

### 2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標: ①専門課程入学者の増加

②学生及び教職員の健康・安全を重視した学習環境の確保

計画: ①SNS・WEB サイトを活用した広報活動

②近隣・周辺地域の学校とのつながりの強化

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1
・学校における職業教育の特色はあるか	4 3 ② 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 ② 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 3 ② 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4 3 ② 1

#### ①課題

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴い入学者の減少が著しい、専門課程の場合は留学生の割合が高いため影響を大きく受けている。また、服飾業界自体への影響も大きく学生のアパレル業界への就職率も上がり苦戦した、その中で職業人として求められるニーズに応えることのできる人材の育成を目指し、根本となる基礎技術の習得を基本に本校の学生に適合した方法で人材育成に反映させていくことが必要となる。

#### ②今後の改善方策

学生募集の方法や学校としての教育の方向性を見直していくことが求められる。従来の方針を活かしつつ、時代のニーズに沿った教育方法を模索し、導入していく必要がある。

#### ③特記事項

今年度も行事等の規模縮小が多く、学生たちの授業成果や学内の様子を外部に発信する機会が減少してしまっているが、次年度に向け新たな外部への発信方法を考え取り組んでいきたい。

## (2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	②	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	②	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	②	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	①
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	②	1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	②	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	②	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	②	1

### ①課題

意思決定の簡素化・迅速化、運営に伴う規則の明確化

### ②今後の改善方策

意思決定過程の見直しや工夫により今後も改善を重ねていく必要がある。運営に伴う規則についても明示可能なかたちにするために検討していく必要がある。

### ③特記事項

内外に対する開示が不十分な情報に関しての開示方法の検討が必要である。

## (3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	②	1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	②	1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	②	1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	②	1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	②	1

・ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	②	1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	②	1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	①
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	②	1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	②	1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	②	1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	②	1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	②	1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	②	1

#### ①課題

外部からの評価体制が不十分な部分があるので、教職員の更なる資質向上のためにも検討が必要である。また、成績評価等の基準についても見直しが必要。

#### ②今後の改善方策

成績評価基準の見直し、カリキュラム等の見直しなど時代や業界ニーズを踏まえ改善を行う。

### (4)学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 就職率の向上が図られているか	4	3	②	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	4	3	②	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	②	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	②	1

①課題

卒業生の就職率の低減がみられた、また留学生の退学・除籍率も増加している。

②今後の改善方策

学校側からの求人の紹介および就職活動に関して、学校としての更なる支援体制の形成が求められる。

授業料の未払い、出席不足など留学生に対しての状況把握と生活指導方法を見直す。

③特記事項

連絡不能となり、やむなく除籍扱いとなる学生をゼロにするには至らなかった。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 ② 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 ② 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 ② 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 ② 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 ② 1
・保護者と適切に連携しているか	4 3 ② 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 ② 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

①課題

- ・コロナ禍の影響により、アルバイトが十分にできず、授業料等学費の支払いが滞る学生が少なくない。
- ・特に留学生の場合、学業よりもアルバイトが優先されがち、また日本語の理解力も乏しく授業についていけず欠席へと繋がるという悪循環が見受けられる。

②今後の改善方策

経済的な理由により、学生が学業に専念できなくなることがないように、国からの給付金等の申請手続きや支援体制のバックアップは迅速に実施したい。また、アルバイト状況の把握や学業の進行状態など教職員で情報を共有し、生徒フォローを強化していく。

### ③特記事項

入学時納付金の支払いが難しい新入生が多く、未払いのまま除籍となる生徒が多数でしまった。

## (6)教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 ② 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 ② 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 ② 1

### ①課題

設備の老朽化

### ②今後の改善方策

優先順位をつけ、予算の範囲内で随時、購入・刷新中である。

### ③特記事項

老朽化・故障した設備については、都度修理・点検をしている。

## (7)学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 ② 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 ② 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

### ①課題

・コロナ禍のため、学校訪問などが積極的に行えなかった。

・募集要項情報をHPにも掲載していたが思っていた以上に資料請求依頼が伸び悩んだ。

②今後の改善方

・学生全体における日本人学生数の増加に向け、募集活動を強化していく。

③特記事項

本年度もコロナ禍の影響で、留学生入学者が大幅に減少した。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 ①
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 ② 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 ② 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 ② 1

①課題

収支計画の見通しを明確にする。

②今後の改善方策

支出内容の見直し。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 ② 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 ② 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 ② 1
・自己評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1



①課題

自己評価結果をもとにした改善に時間を要している。

②今後の改善方策

学校関係者評価による公正・透明な評価方法も早期に実施する。

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 ①
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

①課題

経済的に必ずしも恵まれているとは限らず、自分自身の生活に手一杯の学生も多い。

②今後の改善方策

学生に無理な負担のかからない範囲で、ボランティア情報などの紹介を充実させるべく努める。

(11)国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 ② 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 ③ 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 ② 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 ② 1

#### ①課題

留学生入学者の大幅な減少、学費支払い状況の遅延、就職率の低さ、無断欠席。

#### ②今後の改善方策

- ・授業や日常生活での関わりを通して留学生とのコミュニケーションを積極的にとることで生活面についても注意して見守ることができるようにする。
- ・進学、就活サポート、補習授業などのサポート強化。

### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学生募集・広報活動が難航し入学生の増加につなげられなかった。依然として留学生の割合が高く学習意欲が感じられない生徒もあり、生徒管理も含め対応しきれなかった点は否めない。今後は日本人学生を中心に学生数を増加させるよう努めたい。

また、教職員や学校として生徒情報の共有、カリキュラムや成績評価基準の見直しなど学校として今後の方向性を検討し必要とされる専門学校を目指し改革に取り組んでいく。

## 項目別の自己評価表(高等専修学校)

### 1. 学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標: ①高等課程入学者の増加

②学生及び教職員の健康・安全を重視した学習環境の確保

計画: ①SNS・WEB サイトを活用した広報活動

②近隣・周辺地域の学校とのつながりの強化

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、 不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1
・学校における職業教育の特色はあるか	4 ③ 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 ② 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 3 ② 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4 3 ② 1

#### ①課題

入学者の減少が続いている。専門学校への入学者数事態も減少しているが、その中でも高等専修学校として求められるニーズに応えることのできる人材の育成を目指し、根本となる基礎技術の習得を基本とし、本校の学生に適合した方法で人材育成に反映させていくことが必要となる。

#### ②今後の改善方策

学生募集の方法や学校としての教育の方向性を見直していくことが求められる。従来の方針を活かしつつ、時代のニーズに沿った教育方法を模索し、導入していく必要がある。

#### ③特記事項

今年度も行事等の規模縮小が多く、学生たちの授業成果や学内の様子を外部に発信する機会が減少してしまった。

## (2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 ② 1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 ② 1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 ② 1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 ①
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 ② 1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 ② 1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 ② 1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

### ①課題

意思決定の簡素化・迅速化、運営に伴う規則の明確化

### ②今後の改善方策

意思決定過程については前年度に引き続き手法の見直しを継続して行っていく必要がある。

運営に伴う規則についても明示的なかたちにするために検討していく必要がある。

### ③特記事項

内外に対する開示が不十分な情報に関しての開示方法の検討が必要である。

## (3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 ② 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 ② 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 ② 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 ② 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 ② 1
・ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 3 ② 1

・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	①
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	②	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	②	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	②	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	②	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	②	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	②	1

#### ①課題

従来の方針を活かしつつ時代のニーズに沿った教育方法、カリキュラムを模索し導入していく必要がある。

#### ②今後の改善方策

科目別に授業内容や授業方法を見直し、教師間においても授業内容等を共有しカリキュラムの質向上に努める。

#### (4)生徒指導等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・基本的生活習慣の確立のため取組が行われているか	4	3	②	1
・生徒の安全管理のための取組等(災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある生徒等への支援など)が行われているか	4	3	②	1
・生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	4	③	2	1
・進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	4	3	②	1

①課題

生徒の意向を尊重しながら、学校として生徒の将来に有益な指導をすることが課題である。

②今後の改善方策

生徒の意思決定の助けとなるような就職・進学情報の提供を、より一層充実させる必要がある。

③特記事項

欠席が続く生徒など、教員が個別で対応をしている。

(5) 特別活動等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか	4 3 2 ①
・保護者会等と連携した活動を推進しているか	4 3 2 ①

①課題

クラブ活動は当校独自では実施していないが、連携校にて実施されている。

②今後の改善方策

今年度もコロナ禍で課外活動も制限されていたが、来年度は安全を確保できる形態での実施方法を検討していく。

(6) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・進学率や就職率の向上が図られているか	4 3 ② 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 ② 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 ② 1

### ①課題

卒業生のその後の活躍などを把握しきれておらず、広報ツールとして情報が活かされていない。

進学・就職指導に関しても学校側として手厚いサポート体制が整っておらず、指導が遅れてしまった。

### ②今後の改善方策

進学・就職活動に関して学校としての更なる支援体制の形成が求められる。

### ③特記事項

退学者、除籍者ともに昨年度を上回る数が出た。

## (7) 生徒支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・ 生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 ② 1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 ② 1
・ 生徒の生活環境への支援は行われているか	4 3 ② 1
・ 保護者と適切に連携しているか	4 3 ② 1
・ 卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 ② 1
・ 専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

### ①課題

長期的なビジョンを持ちやすいよう、キャリア教育をよりいっそう工夫する必要がある。

保護者と連携しながら、進路実現に向けての準備支援に力を入れていく必要がある。

### ②今後の改善方策

生徒面談・保護者面談などを行い、早めに進路や生徒への支援が行えるような体制を作っていく。

### ③特記事項

就学支援金など公的な授業料支援を受けることができた。

(8) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 ①
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 ①
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 ② 1

①課題

設備の老朽化

②今後の改善方策

優先順位をつけ、予算の範囲内で随時、購入・刷新中である。

③特記事項

幼稚園と合同の防災訓練を実施した。

(9) 生徒の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・生徒募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 ② 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 3 ② 1

①課題

生徒募集の対応の迅速化。

②今後の改善方策

コロナ禍で学校訪問の実施が不足していた。SNS・オンラインを活用しつつ、現場に目を向けた学生募集に取り組む必要がある。



(10) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 ② 1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 ② 1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 ② 1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 ② 1

①課題

財政情報の公開が急務である。

②今後の改善方策

財務書類の準備および公開体制の整備の迅速化が必要である。

(11) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 ② 1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 ② 1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 ② 1
・ 自己評価結果を公開しているか	4 3 ② 1

①課題

自己評価結果に伴う教職員間での確認・反省が不足していた。

②今後の改善方策

教職員間での自己評価結果の回覧や、ホームページ上で掲載内容をよく確認してもらうようにアナウンスを徹底する。

## (12) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 ①
・生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 ①
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 ①

### ①課題

ボランティアなどは、情報告知はしているが生徒が積極的に参加するには至っていない。

### ②今後の改善方策

生活指導の一環として社会貢献活動の意義などを説いていく。

### ③特記事項

地域社会への貢献として、社会人コースが非常に好評である。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

これまで高等課程の生徒は市内の中学から進学してくる割合が高かったが、他市の中学生が調べてオープンキャンパスに参加し、入学に至るといった動きがみられた。今後のさらなる学生増加に向けて努めたい。個々の学生の希望進路を実現するため、就職・進学を問わず将来的な支えとなるようなキャリア観を育成すべく、サポート体制を引き続き検討していく必要がある。

また、カリキュラムについても再度見直しが必要な時期に来ていると思われる、評価基準もふくめ学校として今後どのような教育を行い、どんな人材を育てたいのか改めて見直しが必要。